

「カスリン台風」ぐんまをおそう 読者からのおたより



第8号を読んで、みんなから寄せられた意見や感想を紹介するね。

利根川の源流は、むかし、海の底だった!ということにびっくりしました。高い山も海の底にあったなんて想像できませんが、僕の住んでいるところも海の中だったかもしれないと思うと不思議な感じです。(笠懸町・小3・男)

授業で群馬県のダムや川についていろいろ調べました。家族で利根川ダム資料館に行ったときのことが役立ってうれしかったです! 今度の新聞は堤防のことが勉強になりました!(伊勢崎市・小4・女)

相模ダムは行ったことがないので、行きたい気持ちでいっぱいです。ダムは水をためたり、流したりしているところだと思っていたけど、この新聞を見て「遊べる場所」だと知ってきょうみを持ちました。(高崎市・中2・女)

「川の虫」とても気に入りしました。ボクたちの町には川がないので、思いもつかないことでビックリしました。(薮塚本町・小5・男)

かっぱ地蔵は近くです。お祭りも参加しています。「川にまつわる話」は近くのことなのに全然知らなかったから、勉強になりました。(月夜野町・小4・男)

私はダムに行ったことがないので、この新聞を読んでとても行ってみたいくなりました。かっぱにきょうみがあるのでカッパ地蔵にも絶対行ってお参りをしたいです。(尾島町・小4・女)

近くの川に魚がいたので水がきれいだとわかってうれしかった。やごを川からとってきて育てています。トンボになるのが楽しみです!(松井田町・小3・女)

家のまわりの川はコンクリートで固められて、魚があまりいません。他の地域のように魚のすめる川があったら楽しいのと思います。村なのに環境問題への取り組みが遅れているように思えます。かえて、都市の方が取り組んでいるような気がします。(榛東村・小4・男)

家の近くに烏川が流れています。おじいちゃんの小さいころはその川で水泳をしたそうです。今は水の量が少なくて少し汚れてしまって泳げません。私も川で泳いでみたかったです。(榛名町・小1・女)

キャンプについての記事がとてもためになりました。これなら友だちとでも行けそうだなあと思いました。(藤岡市・中3・女)

ぼくは魚が好きです。食べるのは好きじゃないけど。今度魚がよく釣れる方法を教えてください。(大胡町・小2・男)

娘はまだ漢字も読めず、ひらがなもすらすら読めるまでなってませんが、私が読んで、カラーの絵を見ながらクイズを頑張りました。私自身も声を出して新聞を読むのは何年ぶりか...不思議と有意義な時間を娘とともに過ごせました。うれしい気持ちです。ありがとうございました。(伊勢崎市・小1・女の親)

ホテルが少くない水にすんでいるなんてびっくりしました。(前橋市・小4・男)

今まで虫はきれいな川に多くすんでいると思っていたけど、きたない川にもいろいろ虫がいてびっくりしました。(高山村・小3・男)

新聞が出るころになると、毎日のように「今日はあるかな?」と探しています。あったときは、とてもうれしいです。(藤岡市・小2・男)

どんな川にどんな虫たちがいるかわかってうれしいです。次は「川のボランティア」についてのことをお願いします。そして、私たちにもできることを教えてください。(渋川市・小4・女)

総合の授業で、白川にすむ虫を調べたりしました。以前の新聞を参考書がわりに、いろいろ調べました。今回からタイトルがカラーになってカッコイイです。(前橋市・小4・男)

ポ やまつなみ? 博 そうじゃ。じつさいに、「山津波におそれた赤城村の人は、入道雲がおそってきた」と言っておる。 その入道雲のような山津波が、赤城山の川すじ...たとえば、荒砥川、赤城白川、沼尾川などをつた

約700人がなくなる

ポ たとえば、どのあたり? 博 赤城山の南がわと西がわがとくにひどかった。富士見村だけでも406カ所です。山くずれがおきた、という記録があるくらいじゃ。 山くずれがおきると、その土石は谷間へ向かう。その途中、大きな石や木などが流されて集まるために、いったんつかえてしまふ。そこへ、あとからととんとん土石が押し寄せると、ついに「決壊」してしまふんじや。ほうほうで、それがおきる。そうすると... 博 そうすると? 博 「山津波」といって、とほつもなく大きな土石流が、川すじをつたてて人のすむところへおそいかかってくるんじや。



ポ 被害は、赤城山の川すじだけじゃなかったんでしょ? 博 もちろんじや。榛名山の川すじなども大きな

これからも洪水へのそなえを

つて、ものすごいスピードでおそってくる。 博 うわー、こわいな。 博 こわいなんてものではない。土石流は大雨でドロドロになってるから、よけい流れがはやい。大きな石がいくつも「ポンポン」ところがってくる。橋がこわれ、道路がたぎらされ、家はつぶされ、押し流される。土石流があつたあとは、なにもかもドロドロの土で埋まってしまう。 しかも、そのあとは一面、石ころだらけで、田んぼや畑に使うことはできなくなってしまうんじや。 博 ひどい。 博 こうして、群馬県だけでも、なくなった人・行方不明になった人あわせて699人、こわれたり押し流されたりした家3844戸という、大きな被害をつけたのじや。 被害人数・戸数は群馬県行政文書より



博 そうじゃの。洪水へのそなえは、これからもみんなです。しっかり考えていかなければならん。



被害を受けた。それから、利根川も堤防が決壊して、たくさんの方を被害を出した。群馬県だけでなく埼玉、東京都にまで被害はひろがったのじや。 博 このカスリン台風のあとはどうなったの? 博 それから、次の年(昭和23年)アイオン台風、その次の年(昭和24年)キティ台風と大きな台風がおそい、3年つづけて群馬県は台風による大きな被害をつけた。 しかし、しだいに堤防をつくらしたり、護岸工事をしたり、川の流れをゆるやかにする工事をしたり、それから山くずれをふせぐために、木を植えたり、砂防ダムをつくらたり...さらに、利根川の上流にダムをつくらせて洪水をふせいだりと、さまざまな努力がつけられてきたんじや。 博 川の子ども新聞の読者からも、北陸豪雨のような洪水でもこわれない堤防をつくらしてほしい、7月の北陸の災害、「スーパー堤防」だったらと思いましたが、などのおたよりが寄せられていますよ。



カスリン台風で利根川がはんらんし、町や村はみずうみのようになつてしまった。これは尾島町の役場付近の様子